

2025年2月3日

東京都千代田区紀尾井町3-12  
アイティメディア株式会社  
代表取締役社長 大槻利樹  
(東証プライム市場、証券コード：2148)

\*\*\*\*\*

AI 専門の新情報サイト「4AI by @IT」開設  
～ AI を「作る」「動かす」「守る」「生かす」エンジニア向け情報サイト ～

\*\*\*\*\*

<https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2025/02/03/4ai/>

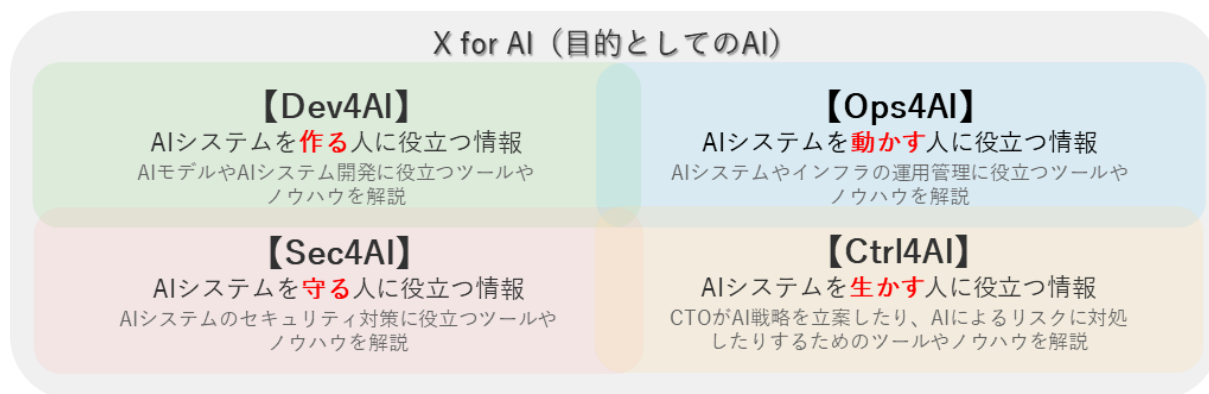
アイティメディア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大槻利樹 以下アイティメディア）は、IT エキスパート向け技術情報サイト「@IT（アットマーク・アイティ、<https://atmarkit.itmedia.co.jp/>）」内に、AI を「作る」「動かす」「守る」「生かす」ための（for AI）エンジニアの学びと課題解決を支援するサイト「4AI by @IT（フォーエーアイ・バイ・アットマーク・アイティ、<https://atmarkit.itmedia.co.jp/ait/subtop/4ai/index.html>）」を開設しました。



アイティメディアが運営する「@IT」は、IT エキスパートの情報収集や問題解決をサポートする、同領域では国内最大級の専門情報サイトです。

ChatGPT の登場を契機として、AI を取り巻く環境は大きく転換しました。ビジネスにおける AI 技術の活用ニーズが飛躍的に高まり、それを実現できるエンジニアが求められています。新たに開

設する「4AI by @IT」は、これからのエンジニアが、AI システムを「作る」「動かす」「守る」「生かす」ため（for AI）の学びと課題解決を支援する情報サイトです。



インフラの構築から開発・テスト、セキュリティやガバナンスに至るまで、ビジネスで実用される AI システムの実現のためにエンジニアが必要とする情報をわかりやすく提供していきます。

#### ■4AI by @IT が取り扱う主なトピック

<b>インフラ構築</b>	AI 用インフラ
<b>運用</b>	MLOps、LLMOps、統合運用管理
<b>開発</b>	AI エージェント／アプリ開発、AI モデル開発／導入
<b>テスト／品質向上</b>	AI 用テストツール
<b>セキュリティ</b>	データ保護、敵対的機械学習（AI への攻撃）対策
<b>リスク管理、ガバナンス</b>	責任ある AI
<b>人材育成</b>	AI エンジニア育成

#### ■主なコンテンツ予定

- ・クラウドサービスだけじゃない！ ローカル PC やサーバ、Kubernetes で生成 AI
- ・LangChain で始める RAG 開発入門
- ・Microsoft Copilot Studio で始める AI エージェント開発入門
- ・ファインチューニング実践ノウハウ
- ・AI モデルを狙った攻撃を防ぐ方法
- ・ビジネス起点に学ぶ、生成 AI 活用の勘所
- ・「責任ある AI」をどう具現化するか

#### ■編集長コメント

OpenAI の「ChatGPT」の登場によって「AI（人工知能）活用」は新たな局面を迎えました。テキストや画像などを「生成」する AI は、これまで「分析」や「認識」が主流だった AI に対する人々の意識を大きく変えたといえるでしょう。ビジネスにどう適用できるか模索したり、既に実業務に生かしたりなど、さまざまな国や企業・組織が AI 活用を推進しています。

AI は急に生まれてきた技術ではなく、これまでもさまざまな形で研究開発がなされ、さまざまな用途での活用が模索されてきました。AI が革新的な進化を遂げるたびに「AI ブーム」が巻き起こり、そしていつの日かブームが去る——。これが AI がこれまでたどってきた道でした。

昨今の AI ブームについても、過去と同様に沈静化するとの見方があります。ただしこれまでの AI ブームと、ChatGPT が火を付けた昨今の AI ブームの間には明確な違いがあります。それは用途や適用業界を絞った AI や、研究開発段階の AI ではなく、汎用的かつ実用段階の AI が、ビジネスの現場で手軽に活用できるようになったという点です。

社会全体でデジタル化が進み、アプリケーションやサービスの開発・運用が「ビジネス展開」とほぼ同義になった今、手軽に活用できるが故に、エンジニアには AI を活用したアプリケーションやサービスの開発・運用も求められるようになりつつあります。

ブームはいつかは去るものだと考えると、昨今の AI ブームもじきに収束を迎えるでしょう。ただし AI がビジネスの現場に浸透する中、エンジニアが AI に向き合うべき状況は変わらないと考えます。

AI を作り、動かし、守り、そして生かすためには（for AI）、どうすればいいのか——。エンジニアが直面するこうした 4 つの課題に対して確かな指針となり、学びの場を提供すべく、@IT は「4AI by @IT」を立ち上げます。昨今の AI ブームが去っても、将来的に新しい AI ブームが到来しても、AI に向き合うエンジニアの皆さまが自身の価値を発揮できるように、未永くサポートします。

同分野については、IT ベンダーからの広告の引き合いも大きく、アイティメディアでは AI に特化したパッケージプランの提案を強化しています。引き続き強化を図ることで、価値ある情報を読者の皆様にお届けするとともに、さらなる成長を加速させていきます。

---

<本リリースに関するお問い合わせ>

アイティメディア株式会社 広報担当

<https://corp.itmedia.co.jp/pr/inquiry/>

---

■ アイティメディア株式会社について <https://corp.itmedia.co.jp/>

テクノロジー関連分野を中心とした情報やサービスを提供する、インターネット専門のメディア企業。月間約 5,000 万ユニークブラウザで利用されています。IT 総合情報ポータル「ITmedia ( <https://www.itmedia.co.jp/> )」、企業向け IT 製品の総合サイト「キーマンズネット ( <https://kn.itmedia.co.jp/> )」、IT エキスパートのための問題解決メディア「@IT (アットマーク・アイティ、 <https://atmarkit.itmedia.co.jp/> )」をはじめ、ターゲット別に数多くのウェブサイトを運営。IT とその隣接領域を中心に、各分野の専門的なコンテンツをいち早く提供します。

[東証プライム市場、証券コード：2148]